**●実習４-１．　演習準備**

・仮想マシンを起動し、Tera Termでアクセスする。ユーザー名「 クラス名＋出席番号（ie2a99など）」 、

パスワード「 クラス名＋出席番号（ie2a99など）pass 」 でログインする。

＊サーバーのIPアドレスがわからない場合、仮想マシンの端末で**ip a**コマンドで確認する。

シェルプロンプトの確認　　　 　　ie2a99@ie2a99:　～　$

サーバーホスト名

カレントディクトリ

ログインユーザー名

**●実習４-２．　Linuxの基本操作（ファイル操作）**

**＊実習前にhistory -cコマンドでコマンド履歴を消去しておくこと。**

**１．コマンド操作練習**（入力コマンド）

1. 「/」ディレクトリのファイル一覧を表示する 　　　　　　　　　　　　　 　（　ls / 　）

②現在のディレクトリのファイル一覧を表示する 　 　　　　　　　　　　　 　（　ls 　）

1. 現在のディレクトリの隠されたファイルも含めファイル一覧を表示する　　　　　（ ls –al ）
2. 「↑」キーを押し、先ほどと同じコマンドを再度実行する 　　　　　（ ↑ ）
3. 今まで入力したコマンドの履歴を表示させる　　　　　　　　　　　　　　　　　（　history　）
4. 「！（番号）」で③と同じコマンドを再度実行する　　　　　　　　　　　　 　　（　!番号 　）
5. カレントディレクトリを確認する （　pwd 　）
6. カレントディレクトリを　/etc　ディレクトリへ移動する　　 （ cd /etc　）
7. シェルプロンプトの確認　　　 　　　　　　　　　　　　　　ie2a99@ ie2a99:/etc$

カレントディクトリ

1. カレントディレクトリをログインユーザーのホームディレクトリへ移動する　　　（　cd ~ 　）
2. １つ前のカレントディレクトリへ戻る　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　cd - 　）
3. カレントディレクトリを確認する （　pwd 　）
4. １つ上のディレクトリへ移動する　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　cd ../ 　）
5. カレントディレクトリを確認する （　pwd 　）
6. カレントディレクトリをログインユーザーのホームディレクトリへ移動する　　　（　cd　 　）

⑯「nuts4」ディレクトリを作成する 　　　（　mkdir nuts4）

⑰カレントディレクトリのファイル一覧を表示する 　　　　　　　　　　　　 　（　ls 　 ）

→ 「nuts4」ディレクトリがある

⑱「/tmp」ディレクトリに「nuts4」ディレクトリを作成する 　　　（　mkdir /tmp/nuts4　）

⑲「/tmp」ディレクトリのファイル一覧を表示する 　　　　　　　　　　 　 　（　ls /tmp 　）

→ 「nuts4」ディレクトリがある

⑳「/tmp」ディレクトリの「nuts4」ディレクトリを削除する 　　　（　rmdir /tmp/nuts4　）

㉑「/tmp」ディレクトリのファイル一覧を表示する 　　　　　　　　　　 　 　（　ls /tmp 　）

→ 「nuts4」ディレクトリがない（消えている）

㉒「peanut4.txt」ファイルを作成する 　　　（　touch peanut4.txt　）

㉓カレントディレクトリのファイル一覧を表示する 　　　　　　　　　　　　 　（　ls 　）

→ 「peanut4.txt」ファイルがある

㉔「/tmp」ディレクトリに「peanut4.txt」ファイルを作成する （　touch /tmp/peanut4.txt　）

㉕「/tmp」ディレクトリのファイル一覧を表示する 　　　　　　　　　　 　 　（　ls /tmp 　）

→ 「peanut4.txt」ファイルがある

㉖「/tmp」ディレクトリの「peanut4.txt」ファイルを削除する 　　（　rm /tmp/peanut4.txt　）

㉗「/tmp」ディレクトリのファイル一覧を表示する 　　　　　　　　　　 　 　（　ls /tmp 　）

→ 「peanut4.txt」ファイルがない（消えている）

**●実習４-４. 演習課題**

**課題内容**

下記に関するコマンドを実行しなさい。

パス指定が記載されていない場合は、相対パス、絶対パスどちらを使用しても構わない

①⑰は、（）内のコマンドを実行し、他は、記載されている内容のコマンドを実行しなさい

記入欄がある場合は、記載されている内容を空欄に記入しなさい。

※ホームディレクトリとは、ログインユーザーのホームディレクトリを示します

1. コマンド履歴を削除する 　　　　　　　　　 　 (　history 　–c )

②カレントディレクトリを確認する

**pwd**

③カレントディレクトリを　/　ディレクトリへ移動する**（絶対パス指定）**

**Cd /**

④カレントディレクトリを確認する

→　　表示されたディレクトリ　　 /

**pwd**

⑤カレントディレクトリ内の一覧を表示する**（絶対パス指定）**

**ls**

→　　表示された内容

（一部抜粋）　　　bin dev home lib64 　mnt proc run srv tmp var

boot 　etc lib media opt root sbin sys usr

⑥カレントディレクトリをログインユーザーのホームディレクトリへ移動する

**~**

⑦カレントディレクトリを確認する

pwd

→　表示されたディレクトリ例　　 /home/ie2a99

ls

⑧カレントディレクトリ内の一覧を表示する**（絶対パス指定）**

→　　表示された内容　　　kad01.txt peanut4.txt テンプレート ドキュメント 公開

　　　（一部抜粋）

**nuts4**  ダウンロード デスクトップ ビデオ ピクチャ

⑨カレントディレクトリ内の情報を隠しファイル（ドットファイル）も含めて表示する**（絶対パス指定）**

Ls -al

Mkdir test

⑩カレントディレクトリ内に、ディレクトリ「test」を作成する

⑪カレントディレクトリ内の一覧を表示し、ディレクトリ「test」が存在するか確認する

ls

⑫カレントディレクトリ内から、ディレクトリ「test」を削除する

Rm -r test

⑬ディレクトリ「test」が削除されたことを確認する。（⑪と同じコマンド）

⑭カレントディレクトリ内に、新規でディレクトリ「kad04」を作成する **（絶対パス指定）**

Mkdir kad04

1. カレントディレクトリ内の一覧を表示し、ディレクトリ「kad04」が存在するか確認する**（絶対パス指定）**

Ls

⑯コマンド実行履歴を表示する

history

⑰最後に入力コマンドの履歴をkad04ディレクトリ内に「kad04.txt」の名前で保存する**（絶対パス指定）**

（ history > /home/ie2a99/kad04/kad04.txt　　　　 ）

　⑱ディレクトリ「kad04」にある**ファイル名の一覧を詳細表示する**

　⑲⑱の実行結果を表示して、コピーして

クライアント（Windows他）の**クラス名番号**kad04.txtファイルにペーストする

　　　⑲Tera Termをいったん終了して、本日のログが記録されているか確認する

　　　　　ファイル名：クラス番号日付.log

**●課題提出**

**作成した2つのファイル（クラス名番号kad04.txt、クラス名番号日付.log）をsv23の指定さ**

**れた場所へ課題を提出しなさい。**